

基本理念

目 標

施 策

取 組

目標1 多彩なスポーツの機会創出
～県民一人一人がスポーツの価値を享受～

【指標1】スポーツの現地観戦割合

・過去1年間に県内で行われたスポーツ大会やスポーツの試合を
実際に会場で観戦する機会があった県民の割合 50.0%以上

【指標2】スポーツに関するボランティアに参加した割合

・スポーツイベントやスポーツの指導への協力等、スポーツに関するボ
ランティア活動を行っている県民の割合 10.0%以上

目標2 すべての県民にスポーツを
～誰もが生涯に渡る充実したスポーツライフを～

【指標3】スポーツ実施率

・スポーツを週1回以上行う成人の県民の割合 65.0%以上

【指標4】子供のスポーツ意欲

・中学校を卒業した後、自主的に運動やスポーツをする時間を
持ちたいと思う県内中学2年生の割合 85.0%以上

【指標5】パラスポーツの推進

・彩の国ふれあいピックの参加者数 R1 3,847人（春、秋、球技大会）

目標3 県民に夢と希望を与える
埼玉トップアスリートの輩出
～スポーツ王国埼玉の更なる発展への支援～

【指標6】アスリートの活躍（国内）

・国民体育大会における男女総合成績（天皇杯） 3位以上

【指標7】アスリートの活躍（国際）

・国際大会における埼玉県ゆかりの選手8位以上 500人以上

目標4 社会におけるスポーツの力の発揮
～スポーツを通じた絆の強い活力のある社会の実現～

【指標8】トップチーム・トップアスリートとの連携

・トップチームやトップアスリートと県との連携事業数

施策1 スポーツをささえる基盤づくり

- (1) スポーツをささえる多様な担い手づくり
- (2) ボランティア等スポーツを支える担い手の活躍の場の充実
- (3) スポーツに関する情報発信の強化
- (4) スポーツにおけるDXの推進

施策2 スポーツを楽しむことができる
多様な機会の創出

- (1) 身近で気軽にスポーツに親しめる機会の充実
- (2) 多彩なスポーツ大会、イベントの誘致・開催
- (3) スポーツ・レクリエーションの場・施設の整備
- (4) プロ・トップチーム等を身近に感じる機会の拡大

施策3 子供・若者のスポーツ活動の充実

- (1) 学校体育の充実
- (2) 運動部活動の充実と地域移行の推進
- (3) 地域におけるスポーツ活動の充実

施策4 スポーツ実施率の低い女性、働く世代・
子育て世代のスポーツ機会の充実

- (1) 女性のライフステージに応じたスポーツの機会の提供促進
- (2) 働く世代・子育て世代のライフスタイル、ニーズに応じたスポーツの機会の提供促進
- (3) スポーツ科学を活用したスポーツ実施率の向上促進

施策5 障害者のスポーツ機会の充実

- (1) パラスポーツの推進
- (2) 障害に応じたスポーツの機会の創出

施策6 スポーツを通じた高齢者の健康増進・
生きがいづくり

- (1) 高齢者がスポーツ・レクリエーションに気軽に参加できる場や機会の充実
- (2) 全国健康福祉祭（ねんりんピック）埼玉大会の準備・開催
- (3) 健康増進・健康長寿社会の実現

施策7 スポーツ科学によるアスリート
（パラアスリート含む）の競技力向上

- (1) 競技スポーツ人口の拡大
- (2) アスリートの発掘・育成
- (3) アスリートの強化支援
- (4) アスリートの競技継続支援
- (5) プロ・トップチームと連携した支援の充実
- (6) スポーツ科学の知見を活用できる人材の育成
- (7) 国、県スポーツ協会、県障害者スポーツ協会、
競技団体、大学等と連携した支援体制の強化
- (8) 屋内50m水泳場、スポーツ科学拠点施設の整備推進

施策8 スポーツ・インテグリティ及び
安全・安心の確保

- (1) スポーツ団体の組織力・ガバナンス強化
- (2) スポーツ団体のコンプライアンスの徹底
- (3) ドーピングの防止
- (4) スポーツにおけるハラスメントの防止
- (5) スポーツ事故・スポーツ障害の防止

施策9 スポーツによる共生社会の実現

- (1) 女性の活躍
- (2) パラスポーツの振興、裾野拡大
- (3) 国際交流の促進
- (4) 青少年の健全育成
- (5) 地域コミュニティの再生

施策10 スポーツを通じた地域の活性化

- (1) スポーツを核とした魅力ある地域づくり
- (2) トップチーム・トップアスリートとの連携による地域振興
- (3) スポーツの成長産業化

今後の審議を踏まえ、別途ご議論